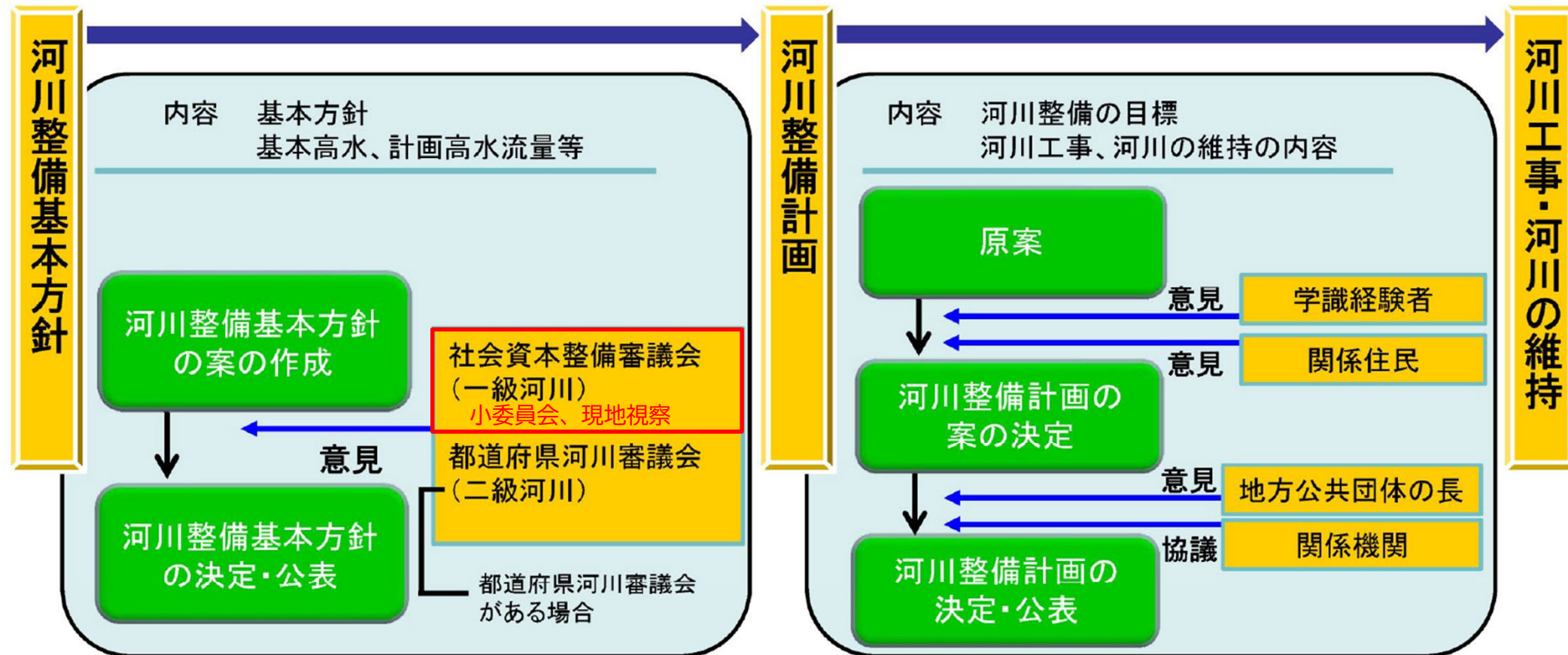


# 令和7年度 大分川・大野川学識者懇談会 〔大分川水系河川整備基本方針変更について〕

令和7年9月30日

国土交通省九州地方整備局  
大分河川国道事務所

# 河川整備基本方針と河川整備計画について



(河川整備基本方針)

第一六条 河川管理者は、その管理する河川について、計画高水流量その他当該河川の河川工事及び河川の維持（次条において「河川の整備」という。）についての基本となるべき方針に関する事項（以下「河川整備基本方針」という。）を定めておかなければならない

(河川整備計画)

第一六条の二 河川管理者は、河川整備基本方針に沿って計画的に河川の整備を実施すべき区間について、当該河川の整備に関する計画（以下「河川整備計画」という。）を定めておかなければならない

# 河川整備基本方針と河川整備計画について

- 平成9年に河川法が改正され、「河川整備基本方針（**長期的な河川整備の方針**）」と「河川整備計画（**当面の具体的な整備の計画**）」を策定することとなった。

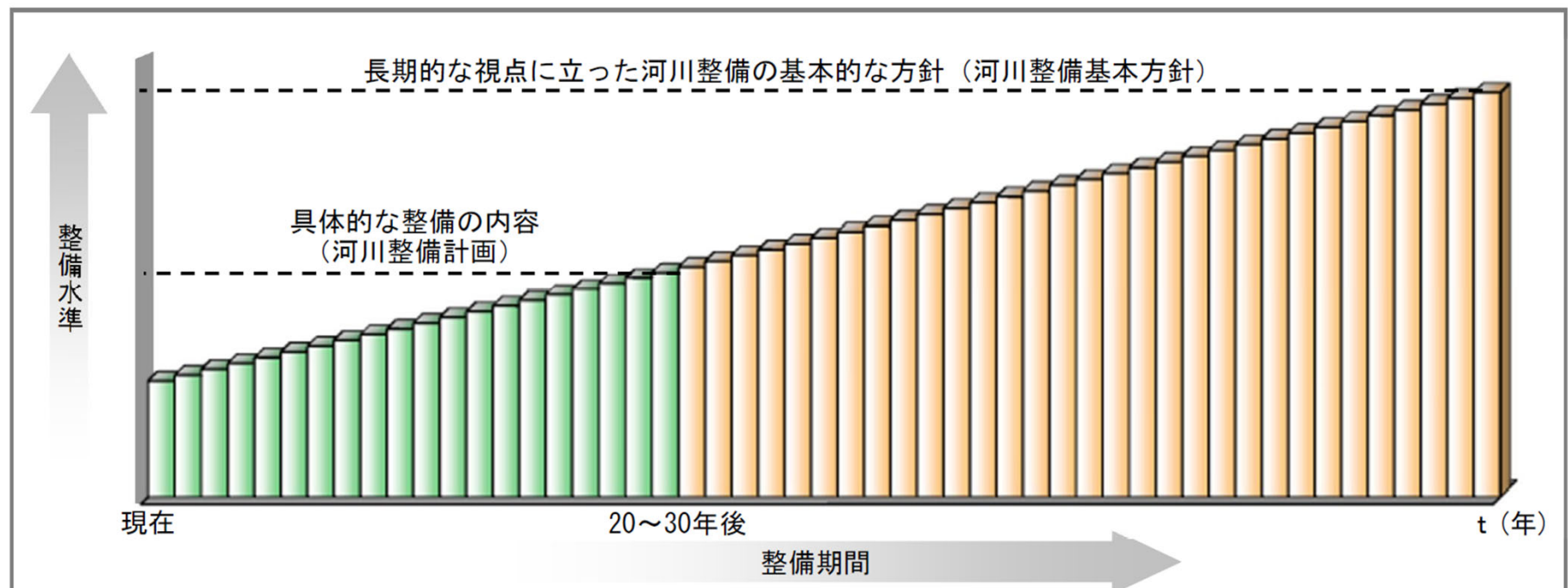
## 河川整備基本方針

- ①河川の総合的な保全と利用に関する基本方針  
長期的な視点に立った河川整備に関する基本方針を決定
- ②河川工事の実施の基本となるべき計画に関する事項  
個別事業など具体的な河川整備の内容を定めず、整備の考え方を記述

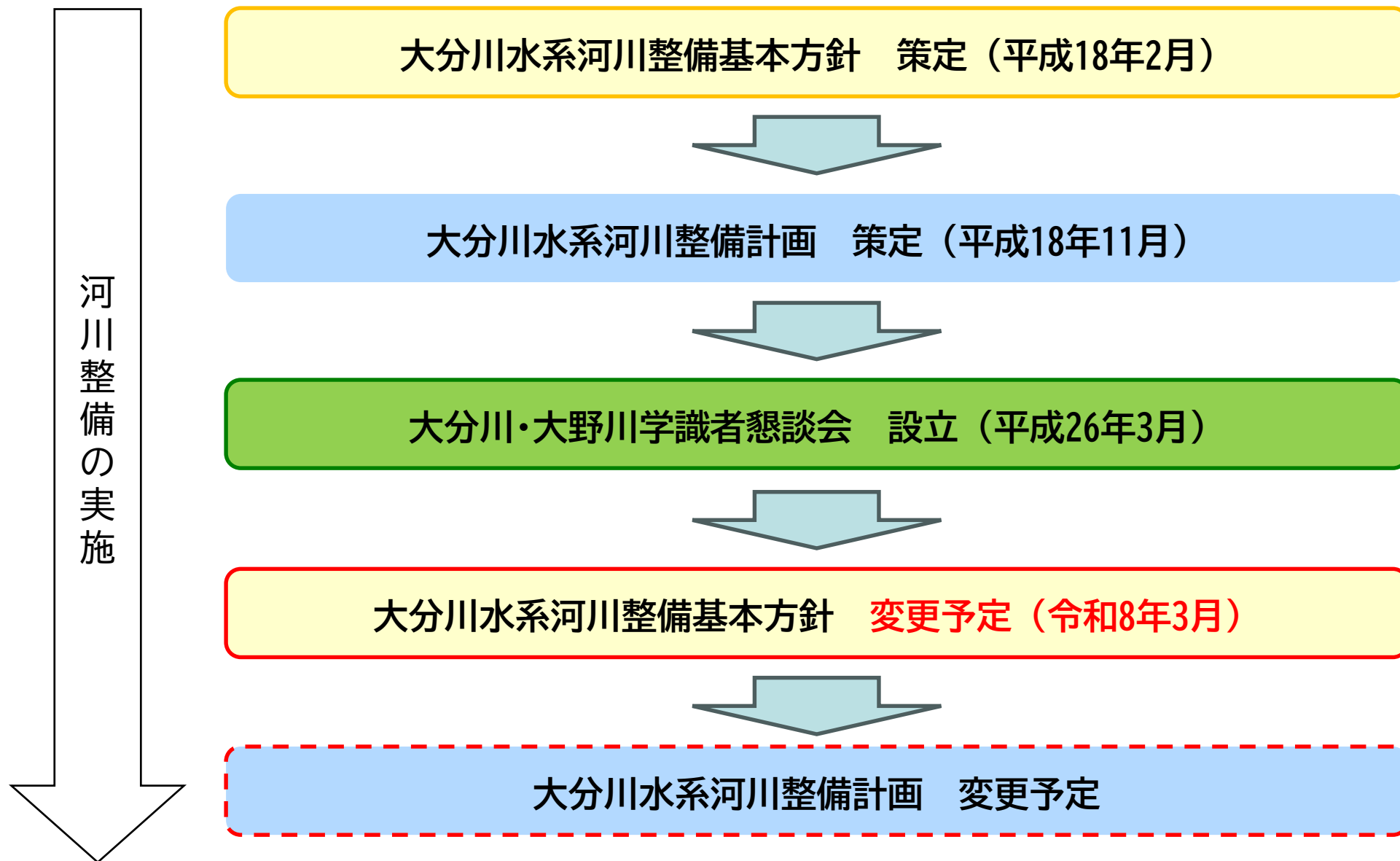
## 河川整備計画

- ①河川整備の目標  
20～30年後の河川整備の目標を明確にする
- ②河川整備の実施に関する事項  
個別事業を含む具体的な河川の整備の内容を明らかにする

河川整備計画における段階的な整備にあたっての目標イメージ図



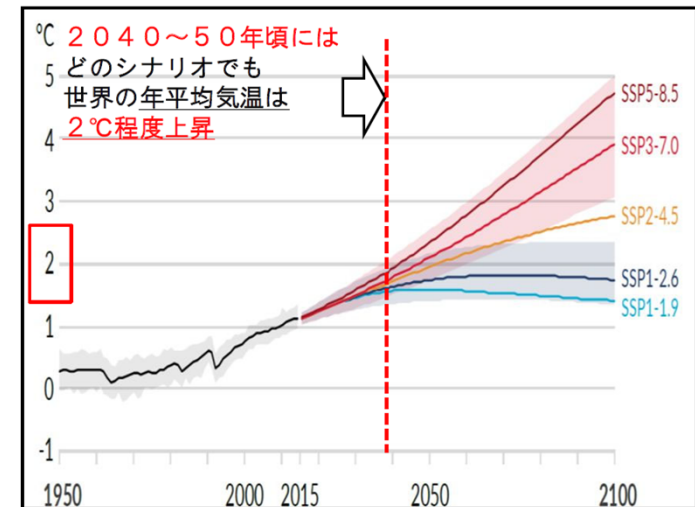
# これまでの経緯（計画の策定・変更等）



# 気候変動を踏まえた治水計画の見直し

## 気候変動を踏まえた治水計画のあり方

- 年平均気温上昇を2℃に抑えるシナリオでも2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になると試算  
**現行の治水対策が完了したとしても治水安全度は目減り**
- 河川整備計画等についても、**気候変動を踏まえ安全度を維持**するための**目標外力の引き上げ**が必要



## 気候変動による降雨量の増加※、潮位の上昇などを考慮したものに計画を見直し

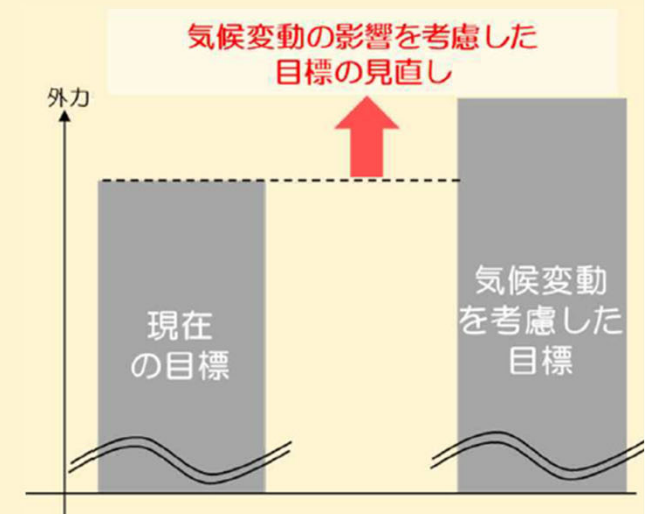
※ 世界の平均気温の上昇を2度に抑えるシナリオ（パリ協定が目標としているもの）

| 気候変動<br>シナリオ | 降雨量<br>(河川整備の基本とする洪水規模(1/100等)) |
|--------------|---------------------------------|
| 2℃上昇相当       | 約1.1倍                           |

↓ 降雨量が約1.1倍となった場合

| 全国の平均的な<br>傾向【試算結果】 | 流量    | 洪水発生頻度 |
|---------------------|-------|--------|
|                     | 約1.2倍 | 約2倍    |

※ 流量変化倍率及び洪水発生頻度の変化倍率は、一級水系の河川整備の基本とする洪水規模（1/100～1/200）の降雨に降雨量変化倍率を乗じた場合と乗じない場合で算定した、現在と将来の変化倍率の全国平均値



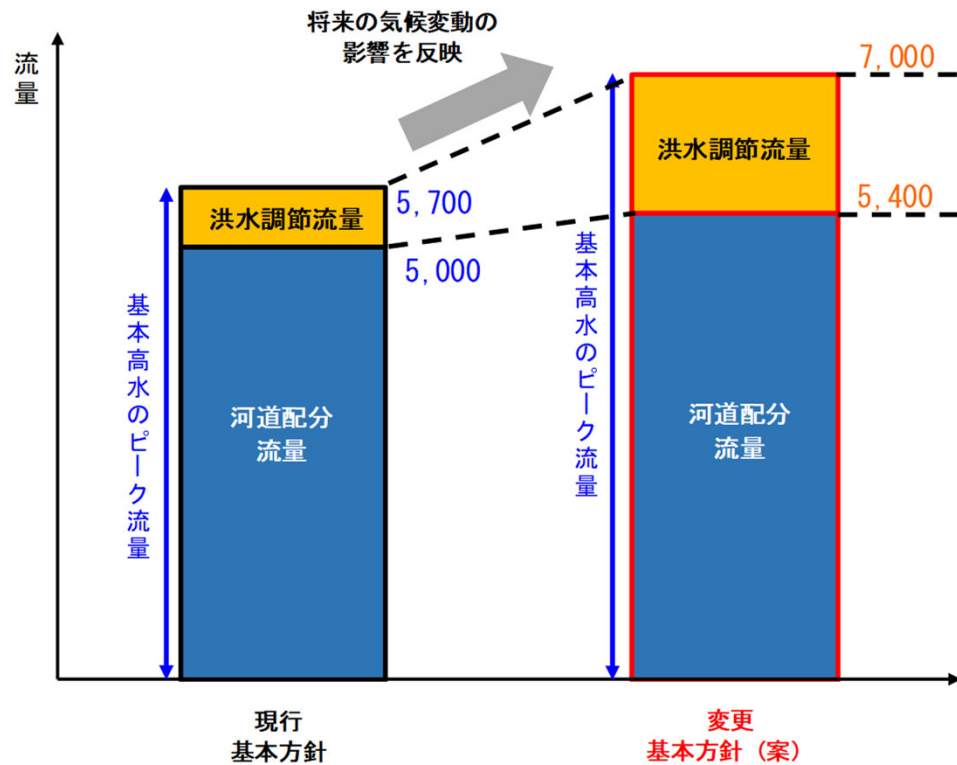
# 大分川水系河川整備基本方針～河道と洪水調節施設等の配分流量変更(案)～

- 気候変動による降雨量の増加等を考慮し設定した基本高水のピーク流量 $7,000\text{m}^3/\text{s}$ を、流域内の洪水調節施設等により $1,600\text{m}^3/\text{s}$ 調節し、河道への配分流量を $5,400\text{m}^3/\text{s}$ とする。

## 河道と洪水調節施設等の配分流量

洪水調節施設等による調節流量については、流域の土地利用や雨水の保水・貯留・遊水機能の今後の具体的取り組み状況を踏まえ、基準地点のみならず流域全体の治水安全度向上のため、具体的な施設配置等を今後検討していく。

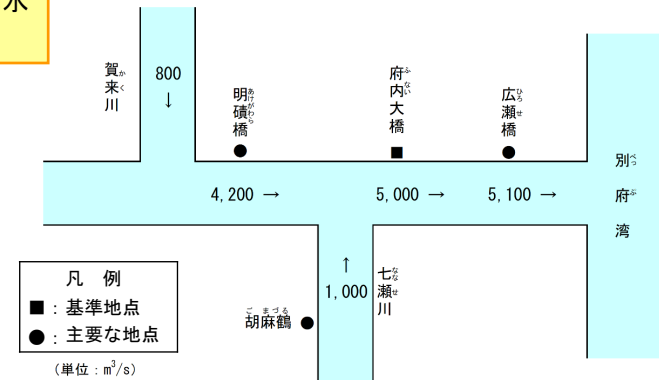
基準地点 府内大橋



※1/100の安全度は維持

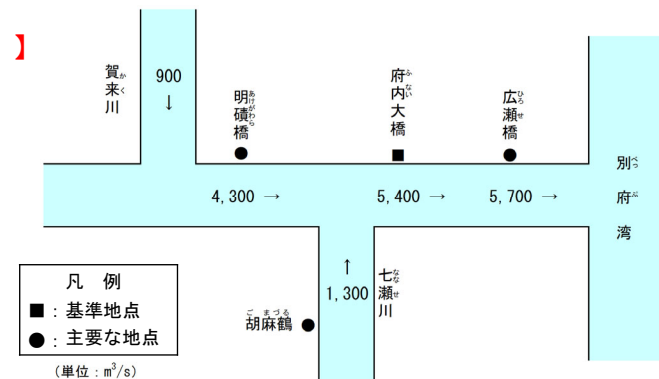
## 大分川計画高水流量図

### 【現行】



|      | 基本高水のピーク流量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ ) | 洪水調節施設による調節流量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ ) | 河道への配分流量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ ) |
|------|--------------------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------|
| 府内大橋 | 5,700                                | 700                                     | 5,000                              |

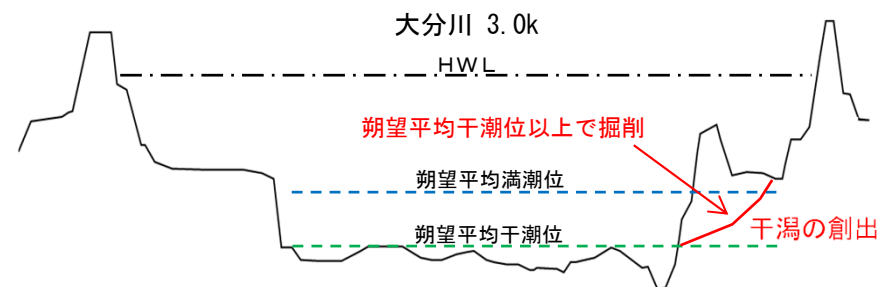
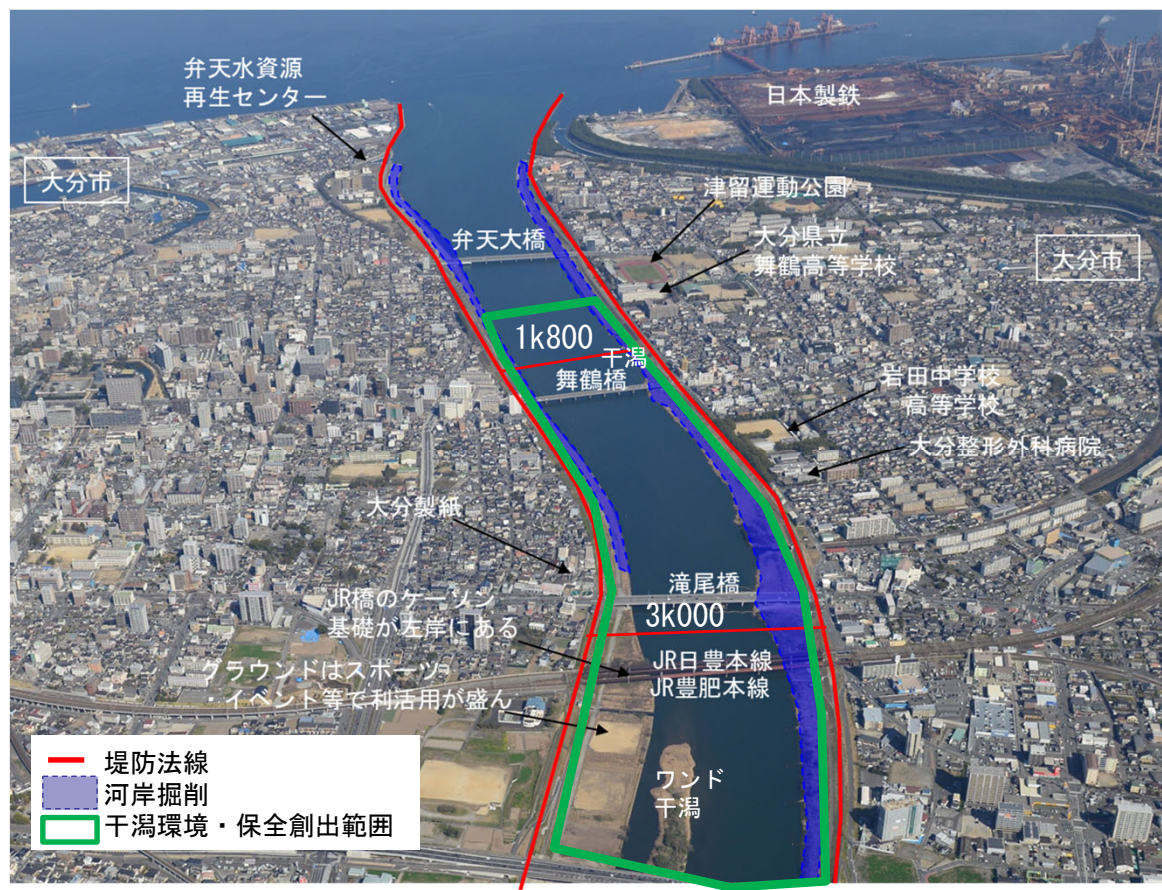
### 【変更（案）】



|      | 基本高水のピーク流量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ ) | 洪水調節施設等による調節流量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ ) | 河道への配分流量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ ) |
|------|--------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------|
| 府内大橋 | 7,000                                | 1,600                                    | 5,400                              |

# 河道配分流量増大の可能性

- 流下能力が不足する河口部付近において、河道配分流量増大の可能性について検討した。
- 大分川下流市街部の堤防は概成しており、背後地は宅地や事業所等が密集していることから、引堤による河道配分流量の増大は社会的な影響が大きい。
- 舞鶴橋上流右岸側には、かつて広がっていた干潟がわずかに残り、シオクグが生育する干潟ではコチドリやヒモハゼ、絶滅危惧種のハクセンシオマネキ等が生息・繁殖するほか、ヨシ原はオオヨシキリ等の生息・繁殖場となっており、干潟環境の保全・創出が必要である。
- 干潟環境の保全・創出範囲下流側の河口部付近で河道掘削を行うと、河床の安定性が確保されず再堆積が予見される。
- 以上のことから、干潟環境の保全・創出範囲は期望平均干潮位以上の掘削とし、基準地点府内大橋5,400m<sup>3</sup>/s相当の流下能力確保が可能であることを確認。

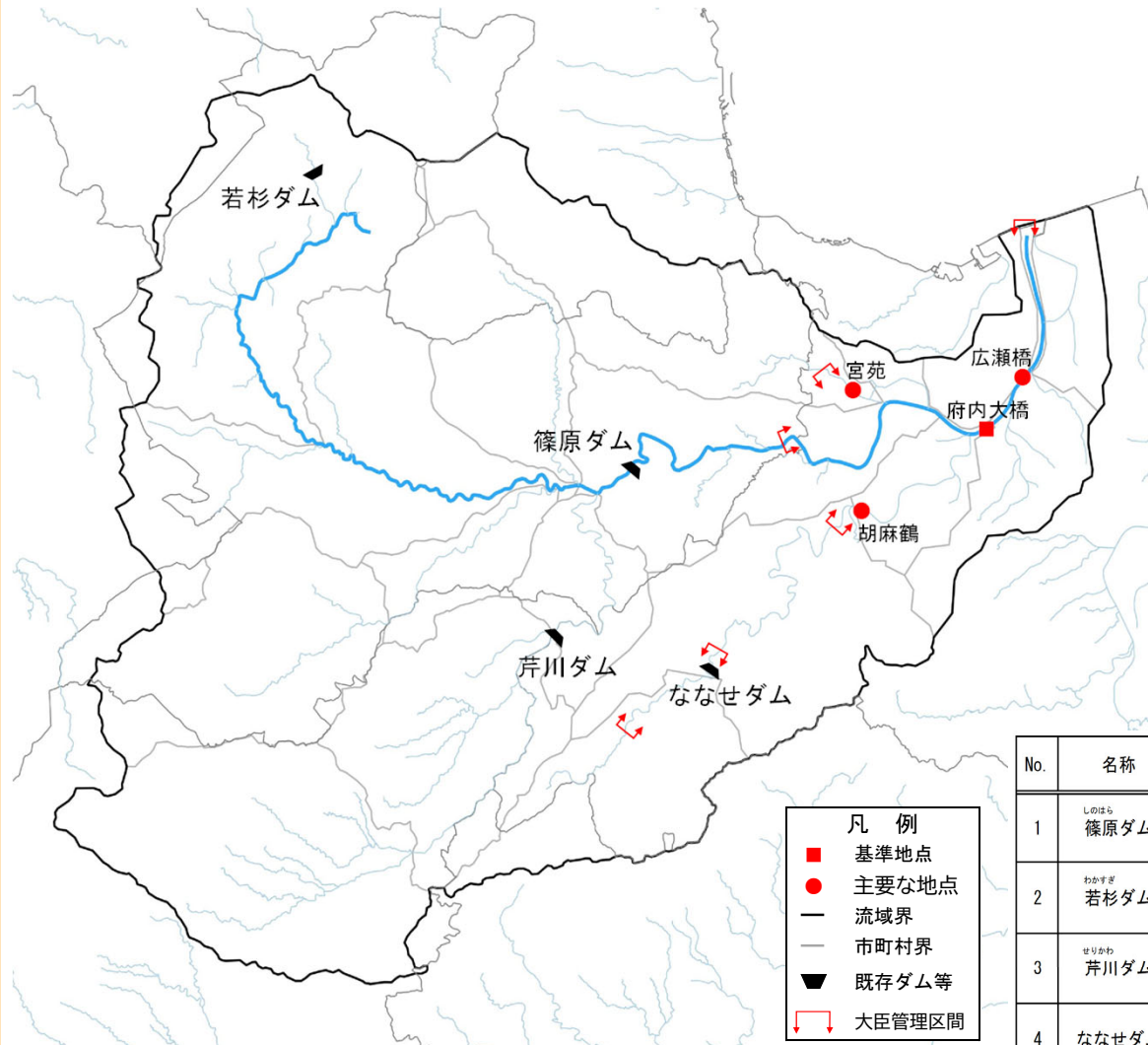


大分川3.0k右岸近景

# 大分川の洪水調節施設等

- 大分川流域には4基の既存ダムがあり、既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用できるよう事前放流の実施等に関して、河川管理者、ダム管理者 及び関係利水者において令和2年5月に治水協定を締結した。

既存ダム等の位置図



既存ダム等の位置図

芦川ダム



出典：大分県

ななせダム



出典：大分河川国道事務所

篠原ダム



出典：ダム便覧

若杉ダム



出典：大分県

大分川流域内にある既存ダム等

| No. | 名称           | 管理者     | 竣工   | ダム区分 | 流域面積<br>(km <sup>2</sup> ) | 堤高<br>(m) | 洪水調節容量<br>(万m <sup>3</sup> ) | 有効貯水容量<br>(万m <sup>3</sup> ) | 備考 |
|-----|--------------|---------|------|------|----------------------------|-----------|------------------------------|------------------------------|----|
| 1   | しのほら<br>篠原ダム | 九州電力(株) | 1958 | 発電   | 409.0                      | 22.7      | 0                            | 41                           |    |
| 2   | わかすぎ<br>若杉ダム | 大分県     | 1965 | 多目的  | 7.2                        | 33.5      | 0                            | 72                           |    |
| 3   | せりかわ<br>芦川ダム | 大分県     | 1956 | 多目的  | 118.0                      | 52.2      | 750                          | 2,230                        |    |
| 4   | ななせダム        | 九州地方整備局 | 2017 | 多目的  | 38.0                       | 91.6      | 1,430                        | 2,240                        |    |

- 流域段彩図

